

編集後記

昨今、我国の推進業界は、これまでの流れの中で一つの大きな潮目を迎えているように感じる。これはあくまでも予感かもしれないが、これが関係者で共有できれば、確かな実感へ成熟するかもしれないし、是非、そうしたいものだ。

奇しくも今年5月15日、兵庫県尼崎市内の国道2号線歩道上に、多くの関係者のご支援の下、「日本推進工法発祥の地」記念碑を建立できた。これまで、種々の報文に、“我国初の推進工事は、昭和23年（1948年）、兵庫県尼崎市内で、旧国鉄尼崎港線の軌道下を、口径600mmの鋳鉄管を延長6m、手掘りとシップジャッキにより押し込んだもの”と記載されているが、今日、旧国鉄線は廃線、跡地の一部は宅地となり、その経緯を知る者も残り少ない。現時点でその地を明示しておかなければ、この偉大な実績は文献上の幻になると危惧された。

我国の推進工法技術は、これを始点として今日まで60有余年の歴史を刻み、現在、世界最高水準に立つと自負できるまでに至った。だが、その流れの中にはいくつかの潮目が見える。そして、次なる潮目を目前に感じる。

まず、第1のフェーズは、始点

1948年から1970年頃までだ。1970年は昭和45年、「公害国会」が開かれ、公害対策基本法や水質汚濁防止法が制定されるとともに、昭和33年制定の「新・下水道法」第1条に、下水道整備の目的として、都市の公衆衛生の向上に加え、河川など公共用水域の水質保全に資することが追記された。これを受け、都道府県が事業主体となる流域下水道事業を核として、全国の下水道整備が急速に拡大する。それを支える国の下水道事業補助金も、以後、生活関連の公共事業との位置付けから、政権与党の支援を受け、他事業より一段と高い伸び率を頂き、総額を拡大してゆく。その潮目までが第1フェーズ、推進業界の創生・黎明期だ。

この創生・黎明期、推進業界の実態はどうであったか。セミ・シールド工法と称せられた泥水式推進工法が初めて登場するのは昭和39年、推進工事のほとんどは刃口式が基本だった。また当時、下水道管路の敷設に当り、大都市とはいえ掘削できるところは、原則、開削工法を採用したはずだ。推進工法をあえて採用する工事箇所は、河川や水路、鉄道軌道、幹線道路の横断など、どうやっても上から掘削できない、“特殊な施工条件”が課せられた箇所に

限定されたであろう。それ故、推進工法やシールド工法には“特殊工法”という冠が与えられた。そこで、推進工事を実施する業者の実態はどうであったか。開放型刃口式の推進工事であれば、切羽の崩壊や出水を防ぎつつ管を押し通すには、地山の動きに精通し、動物の感性を体得した熟練技能者が欠かせない。その熟練者は、現場体験を積むほどその神懸りの能力は高まる。それを保持できる建設企業は、先駆的な特定推進専門業者に限定され、その数も限られた。

一方、下水道事業で推進工事を発注する自治体ではどうか。国が定める下水道積算基準に初めて推進工法が掲載されたのが昭和49年、それ以前は、設計や積算にあたり根拠とできる確立した指針や基準は皆無だ。先駆的な自治体にとっては、実績のある数社の推進業者から提供された資料や見積りが唯一の手がかりだ。したがって、当時の推進工事は、推進業者主導で発注されたことになる。推進事業の市場規模はさほど拡大しなかったとしても、結果として、先駆的な推進業者は、その先見と努力に十分見合う確実な収益が得られたはずだ。彼らの独壇場でささやかな栄華を味わっていたであろうと推測する。

（編集委員長 石川和秀）

No-Dig Today

No.92 2015 Jul. 平成27年7月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：安中徳二

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。
○購読料（税込み）

1冊 1,620円（本体1,500円）〒400円

1ヵ年（4冊）6,480円（本体6,000円）〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会で選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2015 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。